

歯科衛生士部門より

歯科衛生士 小林 実可子

はじめまして。診療支援部 歯科衛生士部門の
小林実可子です。

私は只今5年目の歯科衛生士をしています。新
潟大学医歯学総合病院に勤務し、1年がたちまし
た。こちらで働く前は開業医で3年間勤務してい
ました。病院で働くようになり開業医とは少し
違った環境に戸惑いながらあっというまに1年が
経ちました。

いま私には25人の歯科衛生士の先輩方がいま
す。また私のいる1・2ブロックには5人の先輩
歯科衛生士がいます。みなさん向上心の高い方ば
かりで圧倒されていますが毎日歯科衛生士のこと
や大人の女性の考えなどたくさんのことを吸収さ
せていただき、充実した日々を過ごすことができ
ています。歯科衛生士としてできることがまだま
だたくさんあることを知ることができ私自身も向

上心を忘れずに仕事に励んでいきたいと思ってい
ます。

話は変わりますが、家に帰るといつもハイテン
ションで迎えてくれる可愛い愛犬のディンがいま
す。トイプードルの女の子で私の1番の癒しで
す。少しおばかなわんこですが家では家族でとり
あいをしています。

歯科衛生士として経験も浅くまだまだな私です
が、温かい先輩方に囲まれ日々勉強中です。今後
ともご指導の程よろしくお願ひいたします。



歯科衛生士部門より

歯科衛生士 土田 沙耶香

はじめまして！昨年9月から働かせて頂いております土田沙耶香と申します。歯科衛生士になり7年目ですが、自己紹介を兼ねて御挨拶を書かせていただきます。

母校の明倫短期大学では2年制から3年制に移行した第1期生として3年間地元の北区（旧豊栄市）から電車でゆられ、小針駅から20分かけて歩き、毎日1時間の通学でした。坂が多い小針は道路が凍結すると滑り台のようにツルツルになり、よく転びそうになりながら友人と傘を路面に突き刺し、汗だくになって通学しました。座学よりも実習が好きだった私にとって新潟大学の実習では優しく丁寧に教えてくださる先生方に甘え、今では考えられないくらい失礼なことをしながらもたくさんのお話を教えて頂きました。お世話になった先生、衛生士さん、看護師さんが実習生の私を覚えていない事を祈ります…。

卒業後まだまだ学生気分の自分に反し、あっという間に月日は経ち、共に学んだ友人達にはかわいい子供が…結婚ブームにはすっかり遅れをとってしまいました。ですので、運良く？腕を鈍らせる事なく開業歯科医院で日々患者様のお口の中のクリーニングや診療補助に携わらせて頂いておりました。

そんな私が昨年9月からお世話になっているのが、小児・障がい者歯科、矯正歯科、通称4ブロックですが、歯科衛生士は私を含めて4人です。その4人のうち2人が“土田さん”で、よく矯正科では『こっちの土田さんじゃなくて…』『あぁ～こっちの土田さんか！』と言われ紛らわ

しい私ですが、私の顔と“土田さん”をセットで覚えて頂けたら光栄です。4ブロックは大学病院ならではの特殊な科だと思います。開業医でも多少非協力的な小児、軽度の障がいを持った方、矯正歯科を診てきましたが、ここではより困難な状況の患者様を診察しており、日々大学病院の必要性を感じております。治療されている先生方の技術や対応の仕方、心のケアまで様々な事が初めての体験で、衝撃的でしたが、とてもよい環境に居られること感謝しています。

日々過ぎていく日常の中で、先生方の診療が円滑に進むようにする事、全体を見る力をつける事、患者様のお口の管理を責任持って努めていく事など、まだまだ努力が必要なことが多くありますが、これからも一医療人として精進していきたいと思っておりますので、日々優しくご指導頂いている諸先輩方、4ブロックのみなさん！これからは迷惑をおかけしてしまうと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(筆者 中央)